

秋田城跡出土の文字資料集成の刊行

昭和四十七年より秋田城の発掘調査を担当してきた秋田城跡発掘調査事務所が、研究紀要の第一集として秋田城跡出土の文字資料―漆紙文書と墨書土器―を集成し刊行した。秋田城跡から出土した四点の漆紙文書うち、第三六次調査出土の二点については平川南氏の詳細な報告が載せられ、他の二点についても概要が紹介されている。墨書土器は六四九点全ての一覧表と実測図、及び主たるものの写真図版が収められ、そのなかには昭和三四～三十七年にかけて文化財保護委員会によって行われた発掘調査で出土した墨書土器五三点も含まれている。所在不明の多い同発掘調査出土土遺物についても取り上げられていて有益である。

秋田市教育委員会・秋田城跡発掘調査事務所発行

『秋田城跡発掘調査事務所研究紀要Ⅰ 秋田城出土文字資料集』
(A四版 八八頁 一九八四年九月刊)

〈申込先〉秋田市寺内字大畑二二 秋田城跡発掘調査事務所内
秋田市遺跡保存会 頒価二〇〇〇円 送料三〇〇円

同『沓掛城址第二次発掘調査報告書』(一九八三年)
同『沓掛城址第三次発掘調査報告書』(一九八四年)
同『沓掛城址第四次発掘調査報告書』(一九八五年)

(伊藤秋男・木村光二)

